

経営比較分析表（令和5年度決算）

高知県本山町 嶺北中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	透訓	救臨へ
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
3,206	9,235	第2種該当	-	10:1

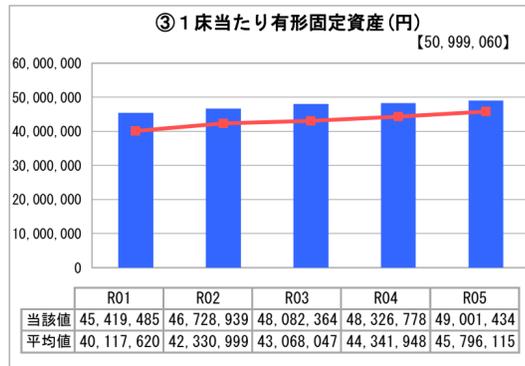
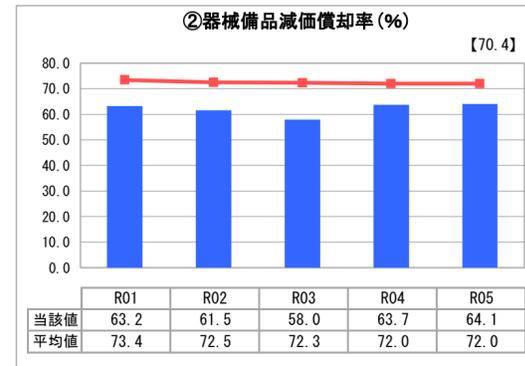
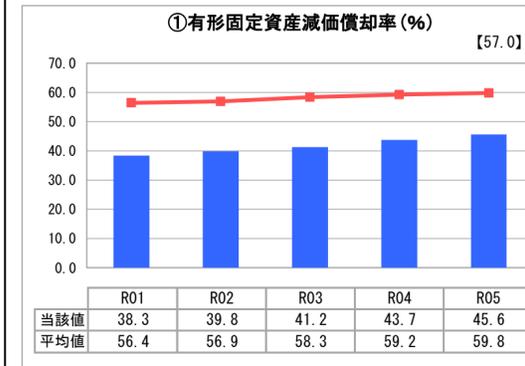
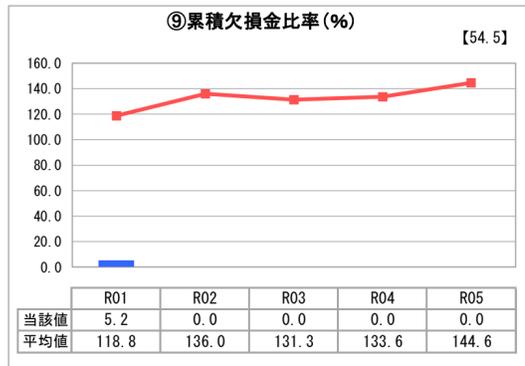
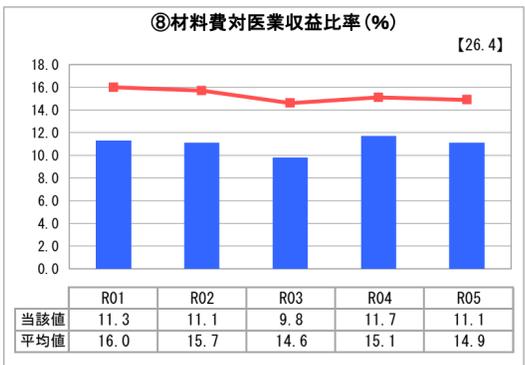
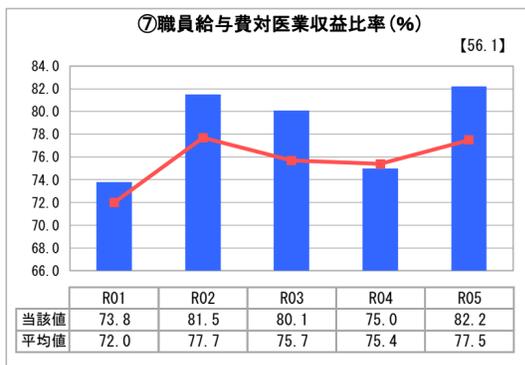
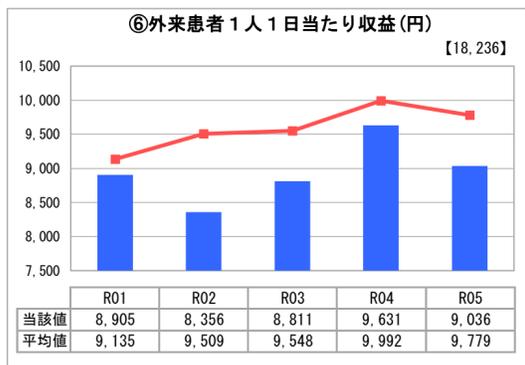
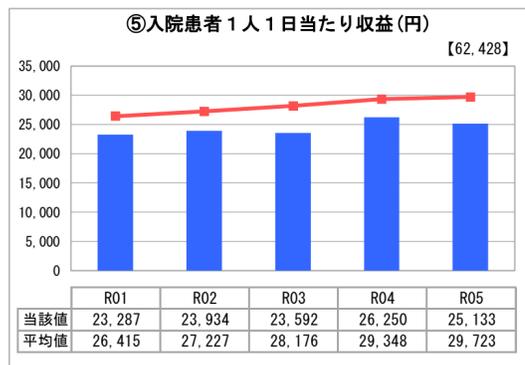
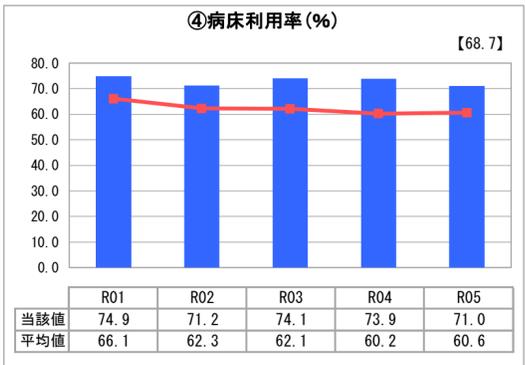
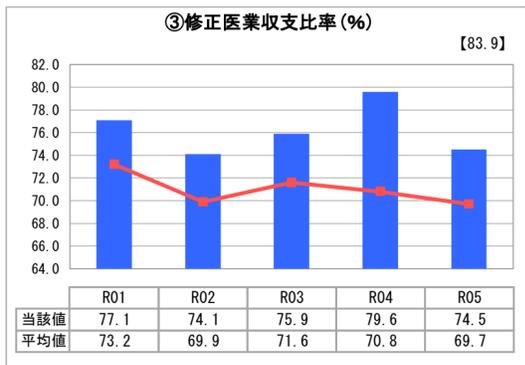
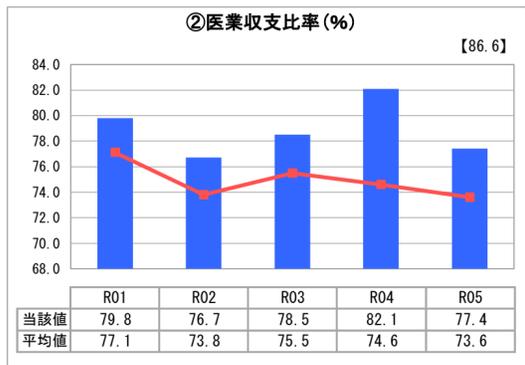
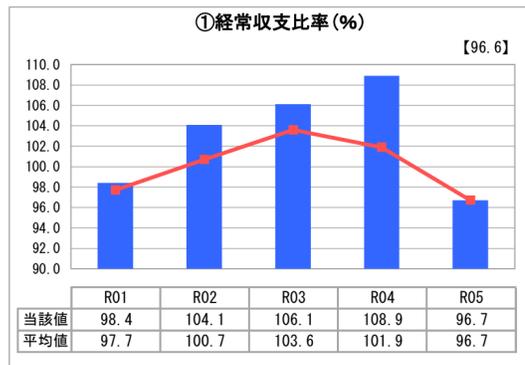
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
55	44	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	99
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
47	40	87

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

山間へき地の嶺北地域唯一の公立病院として、住民が安心して生活できるよう、急性期～回復期～慢性期までの幅広い医療を提供している。二次救急医療、へき地中核病院、救護病院、予防接種・学校検診、事業所健診、在宅医療など保健福祉分野も含めて包括的な医療を展開し、地域に貢献している。
また、令和5年度から通所リハビリテーション及び訪問看護ステーションを併設し運営している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営状況が厳しい中、令和2・3・4年度は新型コロナウイルス感染症対策関連の補助金により黒字決算となった。しかしながら、令和5年度は診療圏人口の減少による患者数の減少に加え、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更になり、前年度に対して新型コロナウイルス感染症対策関連の補助金が大幅に減少したことが当期純利益の赤字となった。
今後は、嶺北地域の医療需要に応じて適正な規模にダウンサイジングしつつ、医師をはじめとする必要な医療スタッフの確保と経営の効率化を図り、持続可能な病院経営を目指していく。

2. 老朽化の状況について

病院本館等の建物については、建築後約24年が経過したところで建物本体に老朽化等の影響はまだ感じられないが、新築時に整備した機械設備類については、既に15年以上の対応年数が過ぎて更新の時期を迎えており、優先度の高い機械設備から順次更新を進めている。
また、今後は嶺北地域の中核病院として大規模災害に備えて設備投資を進めていく必要があり、嶺北地域唯一の公立病院として災害に強い病院づくりを進めていく。

全体総括

令和5年度において、令和5年度から令和9年度を期間とする「嶺北中央病院 経営強化プラン」を作成し、その実現に向けての取り組みを開始している。今後更なる高齢化が進展していく中、関係機関との連携強化、地域医療構想とも整合性を図りつつ、引き続き内科、整形外科、外科の常勤医師の診療体制を確保し、「地域包括医療・ケア」の理念のもと、現行の診療科を外来は維持し、住民の疾病予防・健康増進からリハビリ・在宅医療・透析まで総合的なサービス提供の強化にも引き続き取り組んでいく。
また、診療圏人口の減少、高齢化の進展、医療政策の変化、働き方改革や新興感染症への対応などを踏まえて、今までにない発想や努力により、当院の病床機能や病床規模の再構築及びそれに基づく職員の適正配置や業務の効率化にも取り組むつつ、嶺北地域唯一の公立病院として「地域住民の命と健康を守り続ける」という使命を果たしていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。